

## 10月15日(土) 第3回 「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回のテーマは、「シニア世代のペットライフを考える」～ペットを通じてつながること～高齢者が安心して暮らせる地域とは?と題して、弘前市**第三地域包括センター**所長の**高杉陽子さん**をゲストにお迎えして、お話ししていただきました。**地域包括支援センターとは、高齢者の介護予防、健康や福祉、生活について、総合相談・支援を行う所です。弘前では、各地域の7カ所に設置されています。**

以前から「ワンニャンを愛する会」の敦賀さんから、**高齢者の方が自宅から老人ホームなどへ入居する際、長年連れ添った愛犬や愛猫をどうすれば良いのかと戸惑うケースが増えていて問題になっている。その問題を話題にした機会を考えて欲しいと相談されており、今回の企画が実現しました。**

高杉さんに、**包括支援センターに寄せられた相談内容の“この子(ペット)が心配だから病院受診はしない(入院はしない)”などの対応事例を紹介していただき、みなさんで考えてみました。いろいろな意見もありましたが、このような問題を解決するには時間が必要だ**ということが分かりました。また、高杉さんは「さまざまな相談に対応したことで、**高齢者が、ご自身以上に、ペットに関心を持ち愛情を注ぐ傾向が強い。ペットのご飯を優先し、自分の食事は二の次にしている。経済的に困窮していてもペットを優先し金銭を使う。ペットロスにより、心身に大きく不調をきたす。などの問題も隠れている**ことを感じた」とお話ししてくださいました。

これからの**高齢化社会において、**いろいろな問題が山積みですが、今回の「ほっと・ぼらんていあ」をきっかけに、**みなさんの住んでいる地域の中でも、この問題を話題にして、高齢者が安心して暮らせる社会を考えてもらえたら**と思っています。

**参加者からは、「長年犬を飼ってます。今は一人暮らしで大変暇です。困っている人に手はかせます。大変な時に預かってくれる人を募って登録しておくのはどうでしょう。困る時はお互いさま。一人二人と増えて楽しい(輪)になったらいいですね。」と協力的な感想もありました。**

「ほっと・ぼらんていあ」の次回は、**12月17日(土)13:30～15:30**まで、「**自然を愛する農家から歌声を**」をテーマに、**アコーティオン演奏者の山下貞則さん**をお迎えしてお話ししていただく予定です。詳細に関しては、ボランティア支援センターのHPや広報、新聞等で確認していただければ助かります。ボランティアに興味のある方に限らずに、**みなさんのご参加をお待ちしています。**